



写真:アオゲラ (撮影:平成29年1月27日)

「アオゲラ」

霧島山の木こりさん

池めぐりコースの森の中、「ドドドドド」と大きな音が鳴り響きました。いったいなんの音でしょう。岩が転げ落ちる音でしょうか。それとも誰かが木を叩く音でしょうか。しばらくするとまた同じ音がして、今度は「ピョーピョー」と鳴き声もします。

音を鳴らしたのはアオゲラ。日本固有の大きなキツツキです。春は縄張り争い、求愛、巣穴を掘るため、木の中の昆虫を食べるために木をつつきます。近くで聞くと本当に大きな音で、木が倒れてくる音かと驚いたことがあります。

生きている木にも巣穴を掘り、人がよく通るハイキングコース沿いに巣穴を作ることもしつこくありません。ツバメと同じく、人が通るほうが外敵を遠ざけられることを学習しているのでしょうか。

えびの高原には、他にもオオアカゲラとコゲラというキツツキが生息しています。木を叩く音が聞こえたら足を止めて見上げてみましょう。霧島山の木こりがお仕事の中かもしれませんよ。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

アオゲラ
Picus awokera

キツツキ目キツツキ科